

社会福祉法人弘文会 いしだ丘保育園 令和6年度 自己評価（1歳児・フリー・役職）

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

自己評価			9月			3月		
No.	内 容		◎	○	△	◎	○	△
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が出来ている。		2	5		2	5	
2	指導計画の作成にあたっては、子どもの発達過程を踏まえ、生活の連続性、季節の変化等を考慮し、子ども実態に即した具体的ねらい及び内容を設定している。							
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		2	3	1	3	3	1
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。		3	4		3	4	
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		1	3	3		4	3
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働		4	2	1		4	3
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	4	3		4	3	
		B 温かい言葉遣いで、穏やかに話している。	6	1		6	1	
		C 自分の思いを表現する力が十分でない子どもの、気持ちを汲み取っている。	4	3		5	2	
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	3	3	1	2	5	
		E 「できない」「やって」など言ってくる子どもに対して、子どもの状況に応じて対応している。	5			5	2	
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	3	4		5	2	
8	全体的に気を配りつつ、特に遊びに入れられない子どもへの働きかけをしている。		5	2		7		
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A 子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。	4	3		5	2	
		B 喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。	2	5		4	3	
		C 年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。	4	3		5	2	
		D 子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。	3	3	1	4	1	2
10	A	保育士自身が楽しんで（笑顔で）保育をしている。	4	3		5	2	
	B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	4	2	1	5	1	1
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身状態等に応じ、		2	4	1	3	3	1
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びをお共有している。	3	2	2	2	3	2
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	2	5		3	4	
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	1	4	2	1	4	2
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。		5	2	1	4	2
		E 支援を要する保護者に対して、適切に対応できる。	1	4	2	2	3	2
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	7			7		
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。（民生委員、子育て支援室、療育センター、地域の施設など）	1	5	1		6	1
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。	1	5	1	1	6	
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。	1	6		1	6	

社会福祉法人弘文会 いしだ丘保育園 令和6年度 自己評価（0～2歳クラス職員）

ねらい…「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

自己評価			9月			3月		
No	内 容		◎	○	△	◎	○	△
1	優しい笑顔で語りかけ、心のこもった世話をしている。		5	3		8		
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。		7	1		8		
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。		1	7		3	5	
4	子どもの興味としつけのバランスを考えながら保育している。		2	5	1	2	5	1
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。		3	5		3	5	
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。		1	5	2	2	5	1
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受けいれる努力をしている。	A 子どもの思いを大切にしながら対応している。	5	3		7	1	
		B 食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。	6	1	1	4	4	
		C 心を落ち着かせるために、生活環境を整える（環境整理）の努力をしている。	2	6		5	3	
		D 「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のことばを用いないようにしている。	2	5	1	1	6	1
		E 個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。（個々にあった手助け）	5	3		7	1	
		F 子どものサインを見逃さず対応している。	1	7		6		2
8	一人ひとりの声や活動をキャッチし、全体にも気を配っている。		1	7		1	7	
9	「かかわり」を意識して保育している。	A 保育士の誘いに応えることができるよう配慮している。（あやす・言葉がけをする・たしなめる）	4	4		8		
		B 他の子どもに話しかけたり、誘ったりできる雰囲気づくりをしている。	4	3	1	7	1	
		C 待ってもらっていることに気づいたり、待ってあげたりできる子どもを育よう配慮している。	3	5		7	1	
		D 子どもが手本にしたり、真似したりできる行動を意識してとっている。	2	5		4	4	
10	A	子どもが甘えられる雰囲気を持っている。（雰囲気を作る努力）	4	4		7	1	
	B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。（保健・衛生）	3	5		5	3	
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身状態等に応じ、委託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		4	4		6	2	
12	保護者との連携が十分に取れている。	A 一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びをお共有している。	4	3	1	6	2	
		B 気軽に話しやすい雰囲気作りが出来ている。	5	2	1	6	2	
		C 保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。	2	5	1	3	5	
		D 子育てに関する相談、援助に対応できる。	1	5	2	4	4	
		E 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	2	4	2	4	4	
		F 子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。	6	2		6	2	
13	地域との連携の在り方がわかる。	A 関係機関との連携のとり方を知っている。（民生委員、子育て支援室、療育センター、地域の施設など）		4	4		4	4
		B 子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。		4	4	1	5	2
		C 実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。		6	2		6	2

社会福祉法人弘文会 いしだ丘保育園 令和6年度 自己評価（3～5歳クラス職員）

ねらい・・・「一人ひとりの保育士等職員が、自らの保育を振り返り取り組んでいることの意味や良さ、効果等を認識することが基盤となり、さらにより良い保育に向けて課題を明確にしていく。」

自己評価			9月			3月		
No	内 容		◎	○	△	◎	○	△
1	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮が来ている。			2	1		3	
2	生活リズムが身につくように、くり返し話したり行動したりしている。			2	1		2	1
3	指導計画に沿った、見通しを持った保育をしている。			2	1		2	1
4	子どもの発達や興味に沿った保育内容であり、子どもが意欲的に遊べるよう配慮している。			2	1		2	1
5	自らの保育実践の振り返りや職員相互の話し合い等を通じて、専門性の向上及び保育の質の向上のための課題を明確にするとともに、保育所内外の研修を通じて、必要な知識や技術の修得、維持及び向上に努めている。			3			3	
6	保育所全体の保育の質の向上を図るため、保育実践や保育内容に関して他の職員と共通理解を図り、協働性を高めている。			2	1		3	
7	子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようとしている。	A	子どもの思いを大切にしながら対応している。			3		3
		B	食事・排泄のしつけを個にあわせて工夫している。			3		1
		C	心を落ち着かせるために、生活環境を整える（環境整理）の努力をしている。			2	1	3
		D	「早くしなさい」とせかす言葉や「だめ」「いけません」など、制止や禁止のこばを用いないようにしている。				3	2
		E	個の発達段階によって、可能な目標を定め、個にあわせて支援をしている。（個々にあった手助け）			3		1
		F	子どものサインを見逃さず対応している。			3		3
8	全体に気を配りつつ、特に遊びに入れない子どもへの働きかけをしている。			3			3	
9	遊びや生活を通して、人間関係が育つように配慮している。	A	子ども同士の関係をより良くする様な、言葉かけをしている。			3		1
		B	喧嘩の場面では状況を適切に捉え、双方の思いを大切に対応している。			3		3
		C	年齢に応じた、社会的ルールを身につけるよう配慮している。			3		3
		D	子どもが保育士の手伝いをしたり、友だちを助けたり、協力し合う場を設定している。			3		1
10		A	保育士自身が楽しんで（笑顔で）保育をしている。			3		1
		B	環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。			2	1	3
11	体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人ひとりの子どもの心身状態等に応じ、委託医、かかりつけ医の支持や協力の下に適切に対応している。		1	2		1	2	
12	保護者との連携が十分に取れている。	A	一人ひとりの保護者と、子どもの成長の喜びを共有している。			3		1
		B	気軽に話しやすい雰囲気作りが来ている。			3		3
		C	保育内容および質問に対して、わかりやすく説明できる。			3		3
		D	子育てに関する相談、援助に対応できる。			3		3
		E	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。			3		2
		F	子どもの利益に反しない限りにおいて、保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持に留意している。		1	2		1
13	地域との連携の在り方がわかる。	A	関係機関との連携のとり方を知っている。（民生委員、子育て支援室、療育センター、地域の施設など）			2	1	3
		B	子育て応援Dayなど、地域の親子を気持ちよく受け入れ、子育ての相談に応じる等、子育て支援ができる。			2	1	1
		C	実習生、ボランティア等の受け入れに際し、適切な助言や情報提供ができる。			3		3

目 標

（役職者）

- ・ 職員の困り感や人間関係等の悩みを聞き出し、話しやすい雰囲気に対応したい。
- ・ 指導計画、作成等の指導やアドバイスをを行い、質の良い保育へ繋がられるようにする。
- ・ 職員間の話し合いを多く持ち、働きやすい環境づくりを心掛ける。
- ・ 子育て応援DAYでの活動に力を入れる。

（0歳児）

- ・ 子ども、保護者、職員が安心して過ごせるようにする。
- ・ どの子に対しても適切な関わりを持ち、楽しく過ごす。（笑顔を忘れず）
- ・ 保育内容の自身のレパートリーを増やし、質の良い保育が行えるようにしたい。
- ・ 保護者との交流を図り、信頼関係を築きたい。

（1歳児）

- ・ 子どもが安全に楽しく過ごせるように努力する。
- ・ 職員お互いの良いところ、足りないところを認め合い、助け合って温かい雰囲気のカラス作りに努め共に成長していけるよう、そしてそれが良い保育へと繋げるようにする。
- ・ カラスの職員や周りの職員と助け合っていきたい。
- ・ 子どもの思いを大切にし、心のこもった関わりをしていく。

（2歳児）

- ・ 保育中、保育士間でコミュニケーションを心掛ける。
- ・ 基本的生活習慣の自立に向け、個々に合わせた計画を作り進めていく。
- ・ 一年間を通して園生活の流れを知る。
- ・ 子ども、保護者、職員間との信頼関係を築く。
- ・ 2歳児の保育を知り、生活リズム、生活習慣が身に付くように援助したり、楽しめる遊びを見つけていく。

（3歳児）

- ・ 年齢に合った遊びや環境を整える。
- ・ 子ども達への言葉掛けや対応を見直し、丁寧に関わっていく。

（4・5歳児）

- ・ 異年齢カラスならではの良さを見出す。
- ・ 子ども達の「やりたい」という好奇心を大切に保育内容を考えていく。

（フリー保育士）

- ・ カラスの保育士と連携をとり、子どもの思いを大切にしながら、安全面に気をつけて保育する。
- ・ カラス担任が、笑顔で保育が出来るようお手伝いしたい。
- ・ 子ども一人ひとりの気持ちや思いに寄り添いながら、年齢や発達に応じた保育を行う。
- ・ 全体を把握し、動ける範囲でフォローする。
- ・ 各カラスの子どもに安心感を持ってもらえるよう、一人ひとりの子どもと信頼関係を築いていく。
- ・ 子ども一人ひとりの気持ちを受け止めつつ、意欲的になれるような言葉かけや関わりを心掛ける。
- ・ 体調管理をして元気に、仕事を頑張ります。

自己評価

(役職者)

- ・園内の環境等を整備し、整える事が出来た。
- ・指導計画や成長記録などを丁寧に確認する事が上手くいかなかった。見直したい。
- ・常に全体を見てクラスに声掛けを心掛け、スムーズに仕事が進むように心掛けた。
- ・子育て応援DAYはクラスの活動に参加し、関わりが多く持てて良かった。

(0歳児)

- ・子ども、保護者、職員との信頼関係を築くことが出来たと思う。
- ・「早く」「ブブー」など禁止の言葉かけを多くしていたと反省もある。
- ・危機管理意識に力が入りすぎて、子どもとゆったり心の底から笑顔でいられなかった様な気がする反省です。
- ・同じ遊びをすることが多かったが、玩具を変えたり少しの変化は、出来た。
- ・保護者との対応、自分なりに少しずつではあるが、話す事が出来ていたように思う。

(1歳児)

- ・年齢的にまずは安全と楽しさに重視して保育した。リーダーとして担任同士の連携がなかなか上手くいかず反省点もあるが、子ども達の成長を喜び合えたのは良かった。
- ・年度途中の配置転換で十分な引継ぎもできず、戸惑いが大きかったが日々の保育現場の子どもの安全、保護者との関わりに努めていった。
- ・職員同士で声を掛け合って保育を行ったが、細かい所の連携が難しかった。
- ・落ち着いている場面では目標の保育に近づけた。

(2歳児)

- ・保育士間でのコミュニケーションの心掛けが難しい場面もあった。話しかけやすい雰囲気を持てるようにしていきたい。
- ・個々の成長を見ながら計画を立てることで、身辺自立を促すことが出来た。
- ・初めての保育園、2歳児クラスだったが、同じクラスの先生に色々教えてもらいながら子ども達と関わる事が出来た。
- ・一人ひとりに合わせた基本的生活習慣の進め方を意識したことでスムーズに行う事が出来た。
- ・子どもが甘えられる雰囲気を作る努力をしたので、子どもとの信頼関係を築けたと思う。
- ・子どもを通して保護者の方達とも信頼関係を築けた点は良かった。

(3歳児)

- ・保育室内や遊び、活動の内容がいつも同じになってしまう為、年齢にあった遊びの環境を整えていきたいと思う。
- ・環境や言葉掛けの仕方や対応の方法などを工夫していきたい。

(4・5歳児)

- ・保育理念を十分に理解することがまだ出来てないので、引き続き意識しながら保育を行なっていきたい。
- ・忙しく1年が過ぎ、その都度丁寧な関わりができたかは自己評価は難しい。初めての異年齢クラス。まだ課題も多いが、比較的一人ひとりの自由な発想ややりたいを大切に出来たと思う。

(フリー)

- ・各クラスの先生と、連携を取りながら年齢に応じた保育が行えたと思う。
- ・保育の活動がスムーズにいくようにサポートし、複数の業務を臨機応変に対応できるよう心掛けた。
- ・今年度は夏頃から、ひよこ組に入る事になり、大変な中でも担任とのコミュニケーションあ上手く取れて楽しく保育が出来ました。
- ・4月、5月は一人ひとりの子どもの気持ちを捉える事が難しく、大変でしたが、だんだんと子どもの思いを大切にし、私自身も笑顔で楽しんで保育する事ができました。
- ・各クラスに入り、のんびりと子ども達と関わるクラスもあれば、うさぎは特に忙しく時間が経つのが早く感じられた。他のクラスはのんびりと子ども達一人ひとりと関わる事ができ、楽しく過ごせた。うさぎ組も楽しかったです。
- ・子どもの理解に繋がられるよう担任の先生にその都度関わり方を確認する等して、保育に努める事ができた。又、関わりの中で言葉遣いには常に気を付けて「+」になるよう心掛けているので引き続きどもの最善の利益になる保育が出来よう日々努力したいと思います。

次年度の課題

(役職者)

- ・新しい立ち位置で、今年度の反省を生かしてより良い保育現場作りを意識し、努めていきたい。

(役職者)

- ・引き続き働きやすい環境づくりを目指す

(0歳児)

- ・言葉かけ等の保育の質を高めていきたい。
- ・免疫力低下を感じる年でしたので、次年度はUPの為にまずは生活習慣を正したい。
- ・笑顔を絶やさず接する。
- ・次年度は初めての3歳児、朝夕、触れ合う事はあったがクラス担任になる事は初めてなので、子ども達の様子を見ながら対応が出来たらと思います。
- ・年齢に合った遊び、声掛け援助を心掛ける。

(1歳児)

- ・新しい職員とも、コミュニケーションを大切にして、クラスや園について共有して保育を楽しく出来たらと思う。
- ・どんな状況でも、落ち着いて適切な判断のもと、安全に保育していく。

(2歳児)

- ・週案・月案等指導計画に沿った保育を心掛ける。
- ・個の発達段階によって適切な支援をする。
- ・計画的に仕事（書類など）を進め、心に余裕を持って保育することでコミュニケーションをとりやすい雰囲気を作る。
- ・乳児について知る。
- ・子ども達の関わりを意識したことで遊びや生活習慣は良くなるようになったので、保護者とのコミュニケーションや関係機関との連携の取り方をもっと深めていきたいと思う。

(3歳児)

- ・子ども達が何事に対しても意欲を高め活動や遊びができるようにしていきたい。
- ・一人ひとりの思いをしっかりと受け止め、表現できるようにしていきたい。

(4・5歳児)

- ・特性のある子ども達への支援方法と集団への接続。
- ・年間計画を把握し、ゆとりをもって保育に取り組めるようにしたいです。

(フリー)

- ・子どもの思いを大切にしながら笑顔で接していきたいです。
- ・次年度も各クラスに入りますが、少しでも担任の手助けが出来るようにしたいです。
- ・自分の心と体と向き合いながら、その時々体調での全力を尽くせるようにする。
- ・園の事をまだ、把握してない事もあるので、周知していきながら積極的に自ら声を掛けし動く。
- ・もっと仕事を覚えたい。